

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : VIBOT 窓ガラス用
 整理番号 : 001
 会社名 : BOT株式会社
 住所 : 〒101-0037
 東京都千代田区神田西福田町 4-3
 電話番号 : 03-5577-5560
 F A X 番号 : 03-3527-1931
 担当部署 :
 〒101-0037
 東京都千代田区神田西福田町 4-3
 推奨用途及び使用上の制限 : 窓ガラス専用触媒コーティング剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

火薬類	分類対象外
可燃性／引火性ガス	分類対象外
可燃性／引火性エアゾール	分類対象外
支燃性／酸化性ガス	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	区分2
可燃性固体	分類対象外
自己反応性化学品	分類対象外
自然発火性液体	区分外
自然発火性固体	分類対象外
自己発熱性化学品物質	区分外
水反応可燃性化学品	分類対象外
酸化性液体	分類対象外
酸化性固体	分類対象外
有機過酸化物	分類対象外
金属腐食性物質	区分外

健康に対する有害性

急性毒性（経口）	区分外
急性毒性（経皮）	分類できない
急性毒性（吸入：ガス）	分類対象外
急性毒性（吸入：蒸気）	区分外
急性毒性（吸入：粉塵、ミスト）	区分外
皮膚腐食性／刺激性	区分外
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分2
呼吸器感作性又は皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	区分1
発ガン性	区分外
生殖毒性	区分1 A

	特定標的臓器／ 全身毒性（単回暴露）	区分3（気道刺激性・麻醉性）
	特定標的臓器／ 全身毒性（反復暴露）	区分1（肝臓） 区分2（神経）
環境に対する有害性	吸引性呼吸器有害性	分類できない
	水生環境有害性・急性	区分外
	水生環境有害性・慢性	区分外

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起後
危険有害性情報

- : 危険
- ・引火性の高い液体及び蒸気
 - ・強い眼刺激性
 - ・遺伝性疾患のおそれ
 - ・生殖能または胎児への悪影響のおそれ
 - ・呼吸刺激を起こすおそれ、または眠気やめまいのおそれ
 - ・長期にわたる、または反復暴露により臓器（肝臓・神経）の障害のおそれ

注意書き

- 【予防策】
- ・容器を密閉しておくこと。
 - ・熱、火花、高温のもののような着火源を遠ざけること。
 - ・適切な保護手袋、保護衣、保護眼鏡等を着用すること。
 - ・静電気放電に対する予防措置を講ずる。
 - ・火花を発生しない工具を使用する。
 - ・取扱い後はよく手を洗うこと。
 - ・使用前に取扱説明書を入手すること。
 - ・すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
 - ・屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
 - ・この製品を使用する時に、飲食または喫煙しないこと。
 - ・ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
- 【対応】
- ・気分が悪いときは医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合
- ・直ちに汚染された服を脱ぐこと。皮膚は流水で洗うこと。
- 眼に入った場合
- ・水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 暴露または暴露の懸念がある場合
- ・医師の診断を受けること。
- 【保管】
- ・涼しいところ、換気のよいところで保管すること。
 - ・施錠をして保管すること。

【廃棄】

- ・ 容器を市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

物質

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分名	化学式	含有量	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS番号
カルナバロウワックス	-	15-20%		
エタノール	C ₂ H ₆ O	60-65%	2-202	64-17-5
水	H ₂ O	10-15%		
二酸化チタン	TiO ₂	3.0-6.0%		13463-67-7
酸化セリウム	CeO ₂	0.1-1%		1306-38-3
白金	Pt	0.1-0.5%	1-627	7440-06-4
シリカ	SiO ₂	0.1-1%	1-548	7631-86-9

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気のある場所へ移動させる。身体に異常を訴える場合は医師の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類や靴などは速やかに脱がせ、製品の触れた部分は大量の水及び石鹸でよく洗い流す。
- 目に入った場合 : 直ちに流水で15分以上洗眼し、速やかに医師の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水で口をすすぎ、大量の水を飲ませ吐かせ、速やかに医師の手当てを受ける。
- 予想される急性症状及び遅発性症状 : 目の発赤、痛み、灼熱感、皮膚の乾燥、吸入による咳、頭痛、疲労感、し眠及び、飲み込みによる灼熱感、頭痛、錯乱、めまい、意識喪失など。

5. 火災時の措置

- 消化剤 : 化学消化剤（粉末、二酸化炭素、泡、耐アルコール性泡消化剤）
- 使ってはならない消化剤 : 棒状注水
- 特有の危険有害性 : 引火性の高い液体及び蒸気
- 特有の消化方法 : 周辺火災の場合には、速やかに容器を安全な場所へ移動させる。
- 消化を行う者の保護 : 消化作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク）を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 屋内の場合、処理が終わるまで十分換気を行う。
こぼれた場所は滑りやすいために注意をする。

環境に対する注意事項 : 河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法・機材 : ウェス等で吸着させ取り除いた後は、残りをウェス、雑巾等で良く拭き取る。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
技術的対策 : 取扱う際は換気を十分行う。
局所排気装置・全体換気 : 取扱う際は換気扇を使用する、または窓を開ける。
注意事項 : 他の溶剤と混合してはならない。
保管 : 容器を密栓し、直射日光を避け、冷蔵庫で保管する。
保管条件

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度 : [エタノール]設定されていない
[二酸化チタン]設定されていない
[白金]設定されていない

日本産業衛生学会 (2016 年度版)

: [エタノール]設定されていない
[二酸化チタンナノ粒子]0.3mg/m³
[白金]0.001mg/m³

ACGIH (2015 年度版)

: [エタノール]1000ppm (TLV-STEL)
[二酸化チタン]10mg/m³ (TLV-TWA)
[白金]1mg/m³ (TLV-TWA)

保護具

呼吸器の保護具 : 適切な呼吸器保護具を着用する。
手の保護具 : 適切な手袋を着用する。
眼の保護具 : 適切な眼の保護具を着用する。
皮膚及び身体の保護具 : 適切な作業着を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

外観 物理性状態 : 液体
形状 : 乳液状
色 : 灰色
臭い : 溶剤臭
pH : データなし
融点・凝固点 : [エタノール]-114.1°C (融点) < -130°C (凝固点)
沸点・初留点及び沸騰範囲 : [エタノール] 78.5°C (沸点)
引火点 : [エタノール]13°C (密閉式)
爆発範囲 : [エタノール]下限 3.3vol% 上限 19vol%
蒸気圧 : [エタノール]5731Pa (20°C)
蒸気密度 (空気=1) : [エタノール]1.6
比重 (密度) : データなし
自然発火温度 : [エタノール]422.78°C

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常の取扱い条件によっては安定である。長期の保存により、変色する。
危険有害反応可能性	: 情報なし
避けるべき条件	: 高温への暴露
混触危険物質	: 情報なし
危険有害な分解生成物	: 情報なし

11. 有害性情報

	エタノール	二酸化チタン	白金
急性毒性（経口）	区分外	区分外	分類できない
急性毒性（経皮）	分類できない	区分外	分類できない
急性毒性（吸入：ガス）	分類対象外	分類対象外	分類対象外
急性毒性（吸入：蒸気）	区分外	分類できない	分類できない
急性毒性（吸入：粉塵、ミスト）	区分外	区分外	分類できない
皮膚腐食性／刺激性	区分外	区分外	区分2
眼に対する重篤な損傷性 ／眼刺激性	区分2	区分2B	区分2A-2B
呼吸器感受性	分類できない	分類できない	区分1
皮膚感受性	分類できない	区分外	区分外
生殖細胞変異原性	区分1	区分外	分類できない
発ガン性	区分外	区分外	分類できない
生殖毒性	区分1	分類できない	分類できない
特定標的臓器／全身毒性 （単回暴露）	区分3 （気道刺激性）	区分3 （気道刺激性）	区分3 （気道刺激性）
特定標的臓器／全身毒性 （反復暴露）	区分1（肝臓） 区分2（神経）	区分1（肺：吸入）	区分外
吸引性呼吸器有害性	分類できない	分類できない	分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性	: 混合物としての知見なし
残留性・分解性	: 混合物としての知見なし
生体蓄積性	: 混合物としての知見なし
土壤中の移動性	: 混合物としての知見なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 焼却処分とする。
汚染容器及び包装	: 焼却処分とする。 各市町村の規則に従って廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国内規制

消防法	: 危険物第4類引火性液体第一石油類
船舶安全法	:
航空法	:
国連分類	: クラス3 (引火性液体) 等級II
国連番号	: 1993
輸送上の特定の安全対策及び条件	: 危険物は当該危険物が転落し、又は危険物を収納し運搬容器が落下、転落、もしくは破損しないように積載すること。運送中は、雨水や直射日光が当たらないように被覆等をする。共に、容器が転倒、転落しないように積載する。火気厳禁。その他消防法等の法令に従う。
緊急時応急措置指針番号	: 128

海上規制情報

UN No.	: 1993
Proper Shipping Name	: FLAMMABLE LIQUID, N.O.S.
Class	: 3
Packing Group	: II
Marine Pollutant	: Not applicable

航空規制情報

UN No.	: 1993
Proper Shipping Name	: FLAMMABLE LIQUID, N.O.S.
Class	: 3
Packing Group	: II

15. 適用法令

労働安全衛生法	: 施行令第18条 (名称等を表示すべき有害物質)
消防法	: 第4類引火性液体第一石油類 危険等級II

16. その他の情報

本製品安全データシート(MSDS)は、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、MSDS中の注意事項は通常の実施を前提としたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用法に適した安全対策を実施の上、製品を使用して下さい。また、当社はMSDS記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。

参考文献:

- (1) GHS対応モデルラベル・モデルMSDS情報 (安全衛生情報センター)
- (2) 化学物質総合情報提供システム (独立行政法人製品評価技術基盤機構)
- (3) 国際化学物質安全性カード (国立医薬品食品衛生研究所)